

# 測定作業の省力化でコストダウン

## 路盤用簡易糸張り装置

# 糸張りくん

実用新案登録 3142160号

通常3名必要(両側で糸を持つ2名、中央で高さを計測する1名)な地盤高測定も、**糸張りくん**なら1名でOK。  
自立式の標尺と組み合わせれば写真撮影もラクラク。  
測定作業の労務コストを大幅に抑えられます。

## 糸張り測定が 1人でできる！

GLから10cm上がりで糸が張れる！

自動巻き取り装置付き

重ねて片手で持ち運べる！

こんな作業に

- 路盤作りの検測
- 手引き舗装の敷き均し
- 高速道路などの切削深測定
- マンホール及び各種柵設置の調整

段差にも対応できます



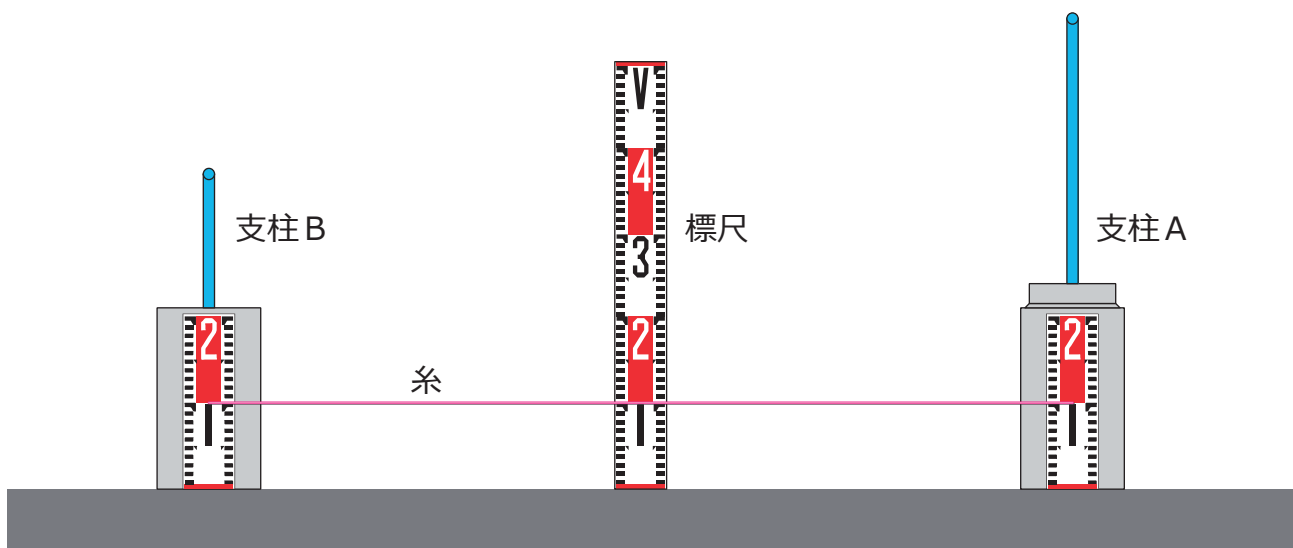
糸張りくんは2体の支柱に張られた糸の張力を保持したまま0.5～10m程度の範囲で任意の長さで糸を張ることができる簡易的な糸張り装置です。

路盤切削面、アスファルト舗装敷均し面からの高さなどが簡単に測定出来ます。

従来は2人の人が糸を張り、糸を張った2点間で他の一人が高さを確認することで3人の作業員を必要としていましたが、糸張りくんを使用すればこれらの作業を一人で行うことが可能な省力化装置です。また、自立する写真用標尺を使えば、工事管理用の写真撮影を一人で行うことができます。

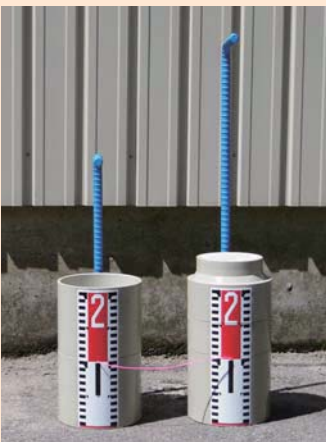
## 使い方

- 1.支柱A（取手が長い方）を測定地点の片側に設置します。
- 2.支柱B（取手が短い方）を測定地点のもう一方に設置します。  
自動巻取り装置が内蔵されているので、糸はテンションがかかった状態になります。
- 3.現場の写真管理が必要な場合は市販の自立標尺を使用すれば一人での撮影が可能です。
- 4.作業が終了したら、支柱Bを支柱Aの箇所まで移動してください。糸は自動で巻き取られます。

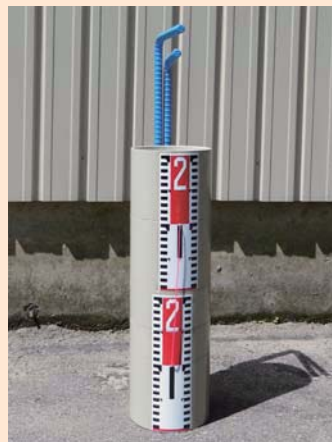


※張られた糸は自重により若干のたるみが生じます。  
同梱説明書の「距離による糸のダレ値表」を参考に校正確認を行ってください。

使用時



収納時



仕様

商品コード	KG01011
寸法	収納時 124×150×H600mm 支柱A 124×150×H560mm 支柱B 124×150×H380mm
質量	約8.6kg（支柱A：4.6kg、支柱B：4.0kg）
材質	本体：塩ビ（内部コンクリート詰め） 取手：異形鉄筋
糸	φ0.8mm 蛍光ピンク色
付属品	糸掛用フック

※製品の仕様は改良等で予告無く変更する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは

製造元 川崎技研

〒861-8045 熊本市東区小山1-6-31  
TEL&FAX(096)-388-0365

販売元 株式会社 アイデア・サポート

〒506-0818 岐阜県高山市江名子町3200-8  
TEL(0577)57-7756 FAX(0577)57-7757